



小さな物事にも目を配り、
「気付き」を得る大切さを学びました。

山田 貴良 さん

経営学部マーケティング学科 2012年入学
大阪府立八尾高等学校 出身

※実習先：株式会社キャッチアップ（JR茨木駅前「賃貸のエリッツ茨木店」経営）

※実習期間：2014年8月4日～8月31日（実働20日間）

飛び込み営業で茨木の地域情報を集めた。

これまでアルバイト経験はありましたが、社会人として働くことはまったくの別物。以前からそう考えていたこともあって、一度社会に出て働いてみたいと思い、追大実践型インターンシップに参加しました。今回、私がお世話になったのは株式会社キャッチアップという賃貸不動産を取り扱う会社です。ここを選んだのは、親戚の勧めで宅建（宅地建物取引主任者資格試験）の勉強をはじめたことがきっかけで、不動産に興味があったからです。

賃貸不動産といえば、窓口に来たお客様に希望に添った物件を紹介するイメージしかありませんでした。しかしキャッチアップでは「茨木地域情報」という Facebook ページを運営し、住民の方に向けて茨木市内の情報を積極的に発信しています。私の仕事は主に、この Facebook ページに情報を掲載させてもらえるよう交渉し、承諾いただいたお店を取材することでした。はじめは断られることも多く、一日に数件情報を集めるだけで精一杯でした。しかし何度もチャレンジするなかで、忙しそうな時間をさけて訪問したり手短かに用件を伝えたりと、お店ごとの事情を考えて動けるようになり、件数が伸びるようになりました。

キャッチアップを訪れるお客様は物件情報だけでなく、その物件のまわりにどんなお店があって、どんな人が住んでいるのかといった情報も求めています。最初はなぜ賃貸不動産の会社が地域情報を取り扱う Facebook ページをやるのか、不思議に思いました。でも、Facebook ページを運営することでキャッチアップは地域により密着することができ、それが他の賃貸不動産会社にもない魅力になっているように感じました。

社長からの言葉が大きな自信につながった。

社員の方との会話で印象的だったのは、街を歩いていてマンションの前に引っ越しトラックを見つけたときのことです。「あれを見てどう思う？」と聞かれ、私はただ“引っ越しをしている”という事実にはしか気付きませんでした。しかし社員の方から「引っ越しがあれば、部屋が空いて売出されるから、我々は取引できるように準備を始めるんだよ」と教えていただきました。街の風景として見過ごしてしまうような小さなことから仕事につなげる視野の広さにおどろきました。他にも工夫して仕事をする大切さやお客様への接し方、情熱を持って仕事することなど、インターンシップを通してたくさんのことを学びました。

インターンシップの最終日、社長から「山田君は気配りに長けている。その長所をもっと伸ばして行ってほしい」と評価いただきました。しっかりと自分のことを見てくださっていたことが嬉しかったです。それに、自分でも長所だと感じていたことを、客観的に、それも社会で活躍されている経営者の方から太鼓判を押されたことで大きな自信ができました。

参加する前は、なんとなく住宅に関わる仕事がしたいと考えていましたが、今回の経験のおかげで将来やりたい仕事をしっかりとイメージできるようになり、この道を進もうと決意できました。インターンシップで学んだことを忘れず、将来に向けて頑張っていこうと思います。

《受け入れ先の声》

働くことの楽しさを学んでほしい。

ただの職場見学や職業体験ではなく、中身の濃い経験となるように、受入体制やプログラムを準備しました。指示通りに動くだけでなく、自らの工夫で何かを付け加えることが出来るようになってもらうこと。その点に注意して指導しました。しかし、何より学んでほしかったのは働くことの楽しさです。それは感じてもらったのではないのでしょうか。

当社としても、学生の視点を学ぶことができ、勉強になりました。追大とは、これからも地元茨木市を共に盛り上げていく関係であり続けたいと思います。



株式会社キャッチアップ
ルームコンシェルジュ
チーフ 竹原 雄太 様